

發行編輯人 川崎文治 福島縣石城郡平町字長橋町廿五番地 印刷所 常磐毎日新聞社



定部金貳錢 一月極二限 廣告字一話一行 料五十錢 日刊 日曜大磐 福島縣石城郡平町田町廿六番地 印刷所 一〇活版所

刊夕日五十月四

常磐文藝

一日一吟 罵句付集 (七) 頗る毒句 罵句山人 悪口寺 罵句山人

◎村風子先生なる者身を教職に在りとの見地からかチンと取済して世間とは没交渉に學校國の一角に立籠りて物言へば唇寒し秋の風かや一言一行苟くもせざるはよけれど彼も人の子なり本能の發露に悶へて時に醜体を演ずれば世人は直に教育者にして云ふ憐れなるは定規にはめ込まれたる形式的の人々である 此ら向け花に歌はぬ人やある

春宵幼想 吾郎

□春のよひなまめく頃となりぬれば物思ひなごする人もなし。 □廿五のたはれ男のたゞ丘よながむる町よおもひでになく。 □かにかくに心ときめく春の宵戀にやあらぬ戀ならなく。 □狂亂になる迄人をな恨みぞ忘れよとおもふこの春の宵。 □大方は行樂を追ふ春の丘にたたずむ廿五男。 □火の思ひこ丘の上のぼりきておもへさ〜涙なてなし。 □春の宵中に花を包むごと君とわれとのさまににるな。 □わが事を菊に見つゝも微笑める君が寢息に似る春の宵。 □春の宵汝こそ戀を結ぶもの丘に立つ子は心ときめく。 □稻荷山祈るしるしの白き紙木にむすばれて春の風吹く。 □春の風静かに歩みくる人の髪のはしさへ亂さじと吹く。

□わりなくも巡禮娘のびんの毛をなまめかかしうも見ゆる宵かも。

印神天

リモ華客ノ一言ニアリ

柏屋染物店 柏傳刺子部

大勉強販賣

石山岩其他各種 中造土木請負業

看護婦派出所

平町南町 電話三〇七番

サクラビヤホール

洋食、辨當、壽司、清酒 麥酒を取揃ひて櫻と共に皆様をお待ちして居ます 廿日迄出張 第一公園表坂上三角塔下 カフエーヨシデン

洋服は高島屋に限る 町南平

牛肉と葡萄酒 西村薬舗 電話二二三番

松本のコーヒー 目丁四町平 ヤトモツマ

万年筆はコサツクに限る 目丁三町平 筆年所

富貴コテ!は 釜屋商店 電話二三九番

株買中値 左記の値段は本日標準値に付御用の節は御問合願候

Table with 2 columns: Bank Name and Exchange Rate. Includes entries like 磐城銀行, 平銀行, 磐城銀行, etc.

東新株 丸登株式会社 川添房二郎

自慢

中山雅司

人は能く自慢をする、身上のよい事や、金儲の上手なこと、交際の巧みなこと、人の面倒見の善いこと、其他門閥の自慢、才智の自慢、文章の自慢、口達者の自慢、行儀作法の自慢、子供の自慢、姉の自慢、あげ来たれば際限がない。 しかし是れは一つとして自慢すべき事柄でない偶々以てその人の小人たることを示すに止まる、孔子は、『小人は大受すべからず小知すべし』と言つた、小事に能く氣

がつき、小智慧の廻るののは小人たる證據であつて何のそれが自慢にならうぞ。 佐久間久右衛門安次は元龜天正の間に於ける豪傑である、蒲生氏郷に出仕し、初めて謁見する時ごうしたはづみか疊の縁に跪づいてはたりと倒れた。 る並んだ近習等は顔見合せてくすくすと笑つた、ても無作法な男であると思つたのであろう。 氏郷は目を剥き座上を睨めつけて『何を笑ふ久右衛門は其方等と異つて疊の上の奉公人ではないぞ』この一喝に一同は縮み上つた、久右衛門は轉んでも猶男前

を上げた。禮作法が何んであろう、疊の縁に跪づいて轉ぶことが何れだけ可笑い。 氏郷は大困も恐れを抱いた程の英傑だ、些々たる過失はごめず、かいつて本領の他にあるを知つて侍臣を戒めた。男子自ら、男子の本領がある、身を以て天下に任じ、救世済民の大事に當るに堪へ得るなれば、區々たる小事は言ふに足らぬ。男子の估券に於て何等自慢すべくんば、小智を措いて、大受を自慢すべきである。

### 製薬王の理想選挙と

## 片や白面の貧乏候補

星氏から出馬決定の電報

此納りがどうなる

果して出るか出ないかは二千人の社員と職工の大家族に御相談を申してから御返事申さうと乙にからんだものの云ひ方で東京に引返した星一氏から昨日石城政友俱樂部に電報が来た其電報面に依ると政黨派を超越して出馬する事に依つて大家族が承諾し

### 営業税賦課は

## 前年と大差がない

価格は七萬三千百數十圓

郡内で三リンの増

平税務署管内の大正十三年度營業税は七萬三千百六圓、納税人員千八百五十八人で内銀行業が新規課税及び積立金増加に基き又製造業は従來課税の不均衡を是正した爲め何れも幾分の増加を示し金銭貸付業が平信託の解散により土木請負業は縣土木事業の減少及鐵道請負の完了にて何れも若干の減少を來したが大体に於て前年と大差なく約三厘方増加の割合であつて内譯は次の通り

業別	税額	人員
銀行業	三、五五	一、三九
無盡業	二、二五	二、六六
金銭貸付業	二、九五	一、八三
物品同上	九、五五	一、八二
製造業	二、五五	一、二七
印刷業	一、二五	一、〇五
運送業	一、〇五	三、七

### 比佐派演説

氣勢を擧ぐ

石城郡憲政派では十八日左記三ヶ所所で比佐昌平氏應援演説會を開き氣勢をあぐと一時江名町▽同六時開會

### 平消防點檢

春季豫習を

平町消防組では明十六日午前七時から春季點檢豫習を警中グラウンドに於て執行

### 常磐石炭協議

常磐石炭協議會は十二日丸の内工業俱樂部に總會を開き十日に開いた石炭礦業聯合總會の報告をなしたる後隅田川石炭置場に對し鐵道省より一部撤廢要求あるも之に反對のため委員を擧げて陳情する事に決定

## 盛んに鑛泉が湧出

川部村の東海炭礦に

早速浴場を經營

石城郡川部村東海炭礦が先頃探礦のため試錐を下したるに目的の石炭はなかつたが鑛泉の噴出を見たので地主安島辰次郎氏は直ちに同泉の分拆を内務省衛生試驗場に請ひアルカリ鹽類鐵分の含有を證明され次第で星製藥醫學博士赤津誠内氏より胃腸及びリウマチスに効あるを證されたので安島氏は鑛泉浴場を經營の筈で日下工事中の由

### 桶職の弟子

貯金通帳拐帶

石城郡四倉町字仲桶職高木勇吉方弟子双葉郡請戸濱小下寅松惣安齋春信(ハ)は同じ弟子石城郡大浦村字下仁井田岡田三五郎長男春利(ニ)と相談して十日夜無斷の家出し四倉驛より水戸驛迄の切符を買ひ逃亡したるよ

### カテイラン

## 新人學生の復習のさせ方

この時代の子供には強いて復習させる必要はありませぬが、復習の習慣をつけるために、學校から歸へつたら、その日に受けた學業について必らず報告させるやうにした方がよろしいです。そして成績物に對しては、なるべく賞讃主義をとつて少々ぐらゐの事は見逃がしてやる事が肝要でございます。學期が進むにつれて算術とか讀方とかの主要な學科につき、二三分復習させる習慣を養なねばなりません。これはたゞ復習だけにどよめ、豫習に亘らぬ方がよろしいです。

### 骨が咽喉に刺した時

魚の小骨のごにささつた時は御飯のかたまりを呑み込むと大抵とれますが、それでもなほ残つて居る場合は、杉箸の先に眞綿を巻いてそれでさつて居るところをこすると、眞綿について抜けます。

### 常磐片々

星候補は理想選挙の一点張

空ばかり眺めて鳥の行衛を追ふ鳥サシの足元に石がある、つまづくな

貧乏の一枚看板は比佐候補の専賣特許

貧乏が賣り物に出る世の中では滅ッ太に金も持てない當落は時の運だやるだけやッ、フレッツ、フレッツ

花時だ、雨がフレッツと云ふ

### カブト塚に

## 史蹟碑

近く認可さる

石城郡夏井村大字荒田目地内の甲塚古墳は昨年三月史蹟名勝天然紀念物保存法に依り内務大臣から史蹟として指定されたものであるが本縣史蹟名勝天然紀念物保存調査委員會では更蹟保存の爲め長さ八尺幅一尺の花岡石を以て甲塚史蹟碑をつくりまた別に甲塚境界標石を建設することとなり先頃内務大臣に出願中の處今回

### 移管

## 道路

明日から調査

東土木課長は齋藤技師と共に十一日以來昨年縣會の建

### 曲馬團來る

明日から開演

既報柴田大曲馬團は明十六日から平町元公會堂通りにて開演の筈であるが伊太利式の大輕業や自轉車の山乗空中大飛行法馬の演技外國人のダンス等珍らしものづくめである

### 社告

明日工場員慰安觀櫻の爲め休刊します

常磐毎日新聞社

東株前場引値(本誌)

先限 九三、六〇〇 九四、四〇〇